

# ポートフォリオマネジメント

当社は、多岐にわたる業界で事業展開を行っているため、資産効率性についても各業界の特徴や傾向を踏まえて目指すべき水準を設定していく必要があります。いかなる経営環境下においても高効率経営を継続していくためには、良質な事業投資を一つずつ積み上げていくことに加え、各セグメントでの地道な資産効率の向上が重要です。当社では、年に一度カンパニー別に経営管理指標の分析を実施して、各セグメントにおいて現在の資産効率を認識し、過年度の資産効率に関する分析やベンチマーク企業との比較等を行っています。更に、営業債権や在庫等の資産を抱えるビジネスでのきめ細かな管理や成長投資の加速に伴う急激な資産増加への目配り等、今後の資産効率改善に向けた施策について議論を行っています。各カンパニーにおけるDMC\*1での議論はALM\*2委員会へ報告されており、より実効性の高い施策を推進しています。(▶ Page 30 CFOメッセージ)

\*1 DMC: Division Company Management Committee

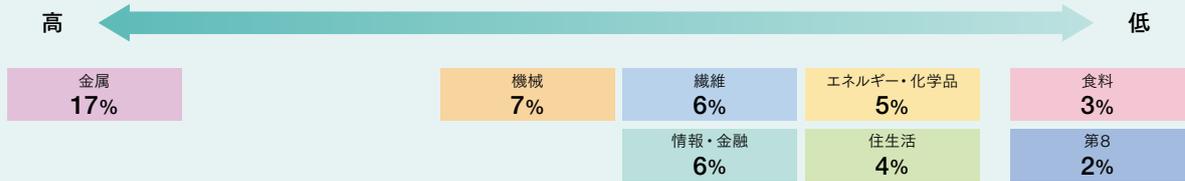
\*2 ALM: Asset Liability Management

## 経営管理指標分析

### 主な報告内容

- 各カンパニーの特性に応じたセグメント別資産効率(ROA等)分析、営業キャッシュ・フロー分析
- 経営環境の変化(地政学リスクの顕在化、資源・原料価格高騰、金利・物価上昇等)を踏まえた対応策
- 低採算のトレードや低効率な事業領域等の課題と改善策
- 主要事業会社における収益改善・拡大策、資産効率(ROA等)改善策等

### セグメント別 ROA (2023年度実績、基礎収益に対する ROA)



(▶ Page 100 セグメント別業績推移)

## (参考)各カンパニー業績に影響を与えるマクロ環境要因

	感応度		各国のマクロ経済		
	為替	市況価格	中国	北米	日本
繊維					
機械	US\$				
金属	US\$・A\$	鉄鉱石・石炭等			
エネルギー・化学品	US\$	原油・LNG等			
食料		豚肉・飼料等			
住生活	US\$	パルプ等			
情報・金融					
第8					
その他及び修正消去	US\$	豚肉等			

影響度 大    小